

事務事業評価資料

施策名	豊かな心を育む教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局義務教育課					
事業名	環境体験事業		担当者電話番号	初等教育係 078-362-3771					
事業目的	生命や環境の大切さを学び、命の繋がりを実感するとともに、美しさに感動する豊かな心を育成								
事業内容	公立小学校3年生を対象に、地域の自然に出かけて行き、地域の人々等の協力を得ながら、栽培・飼育等の自然体験活動を年間3回以上を基本として実施 対象者 市町 対象経費 技術指導謝金等の環境体験事業に要する経費 負担割合 県1/2、市町1/2			事業開始年度	平成19年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(42,240千円) 42,240千円		(96,350千円) 96,350千円		(112,281千円) 112,281千円			
	人件費	1,783千円	従事人員 0.2人	1,694千円	従事人員 0.2人	1,672千円 従事人員 0.2人			
	総コスト(+)	44,023千円	従事人員 0.2人	98,044千円	従事人員 0.2人	113,953千円 従事人員 0.2人			
事業の目標	全公立小学校3年生が、自然にふれあう体験型環境学習を実施			[目標設定理由] 豊かな心の育成等のため、全公立小学校で実施					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	実施校数	全校実施	21	212校 (208千円)	508校 (193千円)	806校 (141千円)	26%	62%	100%
評価結果	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央教育審議会答申等で「学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと」が求められている。</li> <li>都市化や少子化、人間関係の希薄化など子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している。</li> <li>発達段階に応じて小学校から高等学校まで体系的に体験活動を行う兵庫型体験教育の導入事業として位置づけられている。</li> </ul>							
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>21年度は全公立小学校で実施することとしており、児童の豊かな心の育成につながる有効な事業である。</li> <li>人間形成の基礎が培われる時期に、自然にふれあう兵庫型体験教育を行うことにより、命の繋がりを実感するとともに、美しさに感動する豊かな心の育成を図っている。</li> <li>小学校5年生で実施する自然学校推進事業と合わせて、環境体験事業との系統性を持たせることにより、豊かな心を育む力の育成を図っている。</li> </ul>							
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>節約に努めた結果、20年度については1校あたりの実施経費が減少した。</li> <li>学校の身近な場所がフィールドとなるよう、県がフィールドのコーディネーター等の支援を行っているほか、学校の要望にふさわしいボランティアや地域の支援者の照会やテーマ別プログラムの開発等を行っている。</li> </ul>							
	民間・市町との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が先導的な役割として、県と設置者である市町で2分の1ずつ負担しているが、人材の斡旋・調整については、県が支援している。</li> </ul>							
	受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人に帰する教材費は、受益者負担(保護者負担)としている。</li> </ul>							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討の上実施(H20 508校 H21 805校(全校実施))								